

2018 年度の事業計画の概要

1 誰でもが地域に住み続けられるための条件整備に関する事業

① マンション入居者のコミュニティ醸成支援と地域連携支援事業

ルネ追浜の親子サロンは今年度も継続して支援を行う。

追浜地域に住んでいる方たちが楽しく元気に住み続けられるように地域情報を発信していく。また、最近追浜に移り住んできた人や、これから追浜に引っ越してくる人のために追浜の特徴を知ってもらうための情報提供を行い、さらに地域の人や団体とのネットワーク形成を支援する。

② 空き家・空き店舗プロジェクト

今年度も、関東学院大学の空き家プロジェクトに協力し、学生の地域活動への参加を支援するとともに、地域資源としての空き家・空き店舗の活用についてさらに検討を進める。

2 地域資源の保存・活用に関する事業

① 第三海堡遺構の見学・ガイドツアー

見学者に対するガイド事業は個人・団体を問わず引き続きおっぱまはっけん倶楽部の協力を得て推進したい。

神奈川県による重要文化財指定を受けて横須市に対し、約束どおり市および県の重要文化財としての案内看板の設置を積極的に働きかけて行く。崩落懸念箇所（探照灯の一部）の補修についても、見学者の安全対策観点からも補修工事を具体化するように市当局に働きかけて行きたい。

② 追浜の自然や歴史遺産を活かすフィールドミュージアム構想の検討

追浜地域 フィールドミュージアムは、第三海堡、貝山や鷹取エリア等を含め博物館等に見立てる事業を推進する。

貝山地下壕は、一般公開に向けて追浜地域運営協議会の貝山部会が活動しており、当法人は地元活動団体としてこれに協力する。

鷹取エリアのフィールドミュージアムは、「鷹取山・鷹取川を語る会」を開催し、参加者にはフィールドミュージアムの助人として協力をお願いする。

鷹取山の景観保全等は、フィールドミュージアムの重要な要素であり、語る会の参加者の協力を得て、鷹取山、鷹取川の現地調査を行う。その上で湘南鷹取の町内会や鷹取山に関わる各種団体と協議連携の場を構築する。

③ 新しい案内板の設置事業

「おっぱまぶらり散歩」をエリアマップとして完成を目指す。

また、主な見どころの案内看板の設置を更にすすめて行きたい。

④ 東京湾第三海堡保存の意義をみんなで考える講演会の開催

(平成30年度横須賀市NPO補助金)

東京湾第三海堡遺構(以下「第三海堡遺構」)は、横須賀市指定重要文化財に加え、今年3月神奈川県指定重要文化財に指定されたので、標記の講演会を開催し、さらに多くの方の関心を引き起こし、見学者だけでなく保存・公開の活動に加わる人を増やしたい。すでに申請書類は提出しており、決定は7月の予定。

3 地域の活性化に関するイベント事業

① おっぱまワイン寄席や私のこみせ

第15回おっぱまワイン寄席の追浜地域内での開催を目指す。また、私のこみせへの支援を行う。

② こみゆに亭カフェを利用した講座等

追浜地域包括支援センター地域の各種組織と連携して、こみゆに亭カフェの休業日を活用するなどして、身近な活動拠点としての利用を図る。

4 まちづくりの人材育成に関する事業

① 各種団体との交流と人材育成の実施

地元の(協)追浜商盛会、追浜地区社会福祉協議会、追浜工業会等の団体と地域住民あるいは大学とをつなげる活動を行う。

追浜地域以外、市域を越えたところでも共通する課題に取り組む団体と連携する。積極的に視察を受け入れまた先進地見学を行う。

学生から見学要請や当法人の事業に関する問い合わせがあるので、これを人材育成の機会として捉える。

いずれの場合にも、地域資源の活用や地域情報の提供積極的に入れて行く。

5 酒類の醸造および販売事業

① 横須賀おっぱまワインの醸造・販売の協力

ワイナリーでの醸造協力と各種イベントを中心とする販売活動を行う。

6 地域の特産品の製造及び販売事業

① 地域特産品の広報等

地域特産品の開発、販売等の動きに、まちづくりや地域活性化を目指すNPO法人として、広報等の支援をする。

7 広報に関する事業

① 会報「あんず通信」年2回の発行

② 各種冊子の発行、販売

『東京湾第三海堡物語』『貝山緑地見学のしおり』『追浜トンネル物語』『絵地図 おっぱま再発見』といった各種冊子の販売を行う。なお、『貝山地下壕 見学のしおり』は、貝山地下壕の再公開に向けて、改訂の準備を始める。